

「東京大学コリア・コロキウム」について

「東京大学コリア・コロキウム」は、東京大学大学院人文社会系研究科韓国朝鮮文化研究室の事業として 2003 年に開設されました。

この研究室の母体は、1993 年に開設された東京大学文学部附属文化交流研究施設朝鮮文化部門で、当時は学生を持たない研究組織でした。しかし、この間の日韓関係の深まりと相互理解の増進、2002 年のサッカー・ワールドカップの共同開催等を受け、同年が「日韓友好の年」とされ、それと踵を接するように「韓国朝鮮文化研究室」が大学院生を持つ教育・研究組織として改組され、国立大学（当時）唯一の韓国朝鮮に関する大学院独立専攻となりました。現在は、教員計 6 名（特任教員 1 名、助教 1 名を含む）を擁しています。

当研究室では上述のような研究室設立の経緯と意義にてらして、研究室の大学院生をはじめとする東京大学の学生のみならず、広く社会における韓国朝鮮に関する関心を高め、理解を一層促進するため、2003 年度より韓国朝鮮に関する連続公開講演会を企画し、実施することとしました。広く韓国朝鮮問題に関わる学者・研究者、政治家、外交官、官僚、経済人、言論人等を東京大学にお招きし、忌憚のないご見解を披露していただき、質疑にもお答えいただき、一層深い理解と合意を得たいということが「東京大学コリア・コロキウム」を開設しました趣旨です。

専攻設置 21 年目を迎える 2022 年度からは、これまでの実績を踏まえつつも、本専攻の教育研究活動とより密接に連携した形で伝統と現代の両面から韓国朝鮮の文化・社会に対する関心を喚起し、専門的な理解を深めるための機会として本事業を位置づけ、積極的に展開することといたしました。韓国朝鮮の文化・社会研究に従事する多様な専門家から質の高い研究成果を提供していただき、それを広く社会一般に発信することによって、とかく政治や経済などに関心が偏りがちな当該地域に対する均衡の取れた理解を深めることを目指します。それはまた、研究の裾野を拡げ、次世代を担う人材の養成にも寄与するものと確信しております。

お手元にお届けいたしました小冊子は、2023 年度に当コロキウムにお招きし、ご講演いただきました方々の講演および質疑応答を取り纏めたものです。私どもは同地域に関する理解を一層広め、深めてゆくために、今後とも多方面の方々をお招きし、さまざまな情報を社会に向けて発信してゆく所存です。今後とも皆様のご支援をお願い申し上げます。

2024 年 3 月

「東京大学コリア・コロキウム」

目次

第1回	2023年7月13日(木) 18時30分～20時	1頁
講師	三ツ井 崇 氏 (東京大学大学院総合文化研究科 教授)	
主 題	朝鮮近代史叙述における「文化史」の位置づけをめぐって —植民地期を中心に—	
第2回	2023年11月16日(木) 18時30分～20時	16頁
講師	斎藤 真理子 氏 (翻訳者)	
主 題	韓国文学に見る都市再開発と不動産階級社会	
第3回	2024年2月16日(金) 18時30分～20時	35頁
講師	植村 幸生 氏 (東京藝術大学 教授)	
主 題	20世紀前半における朝鮮宮廷音楽と日本人研究者： 田邊、兼常、石川の事績とその評価	